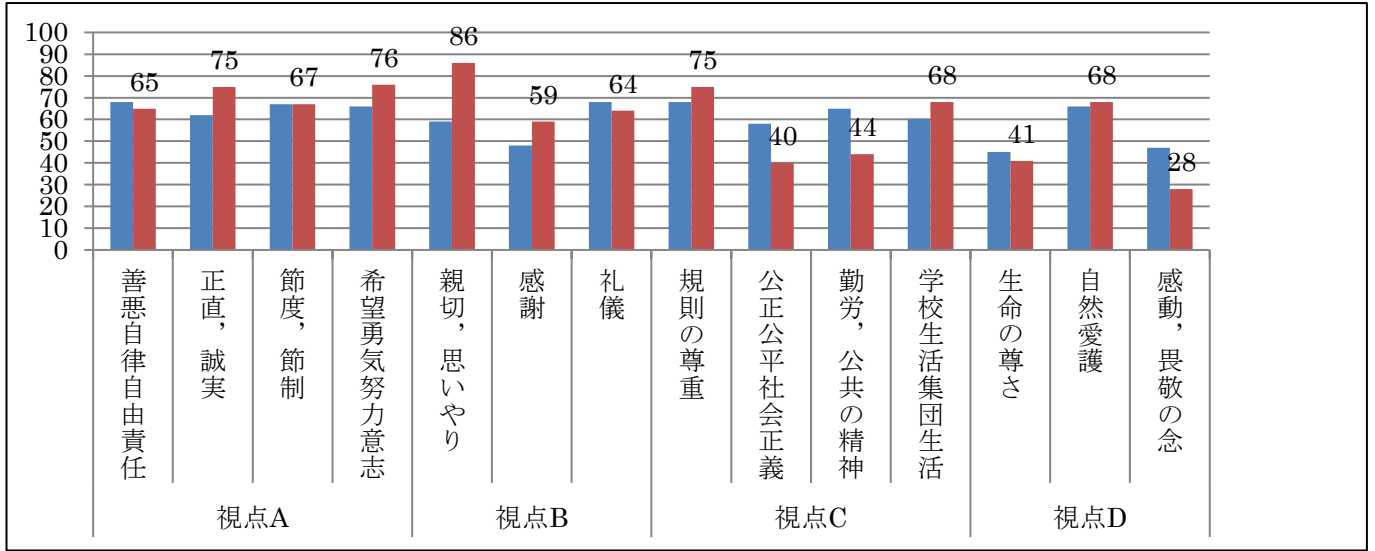


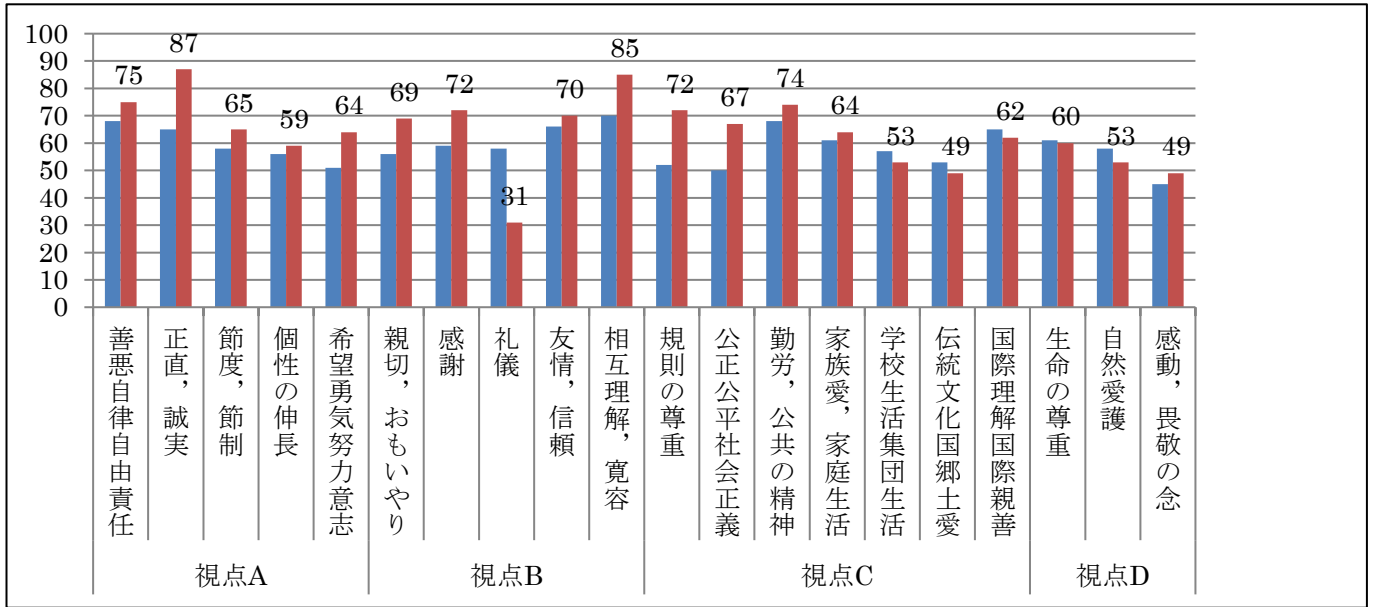
東栄っ子の道徳性の結果

◎道徳性検査を実施した2年生から6年生までの結果をグラフ化しました。各学年の内容項目について全国平均値■と東栄小■を比較しています。

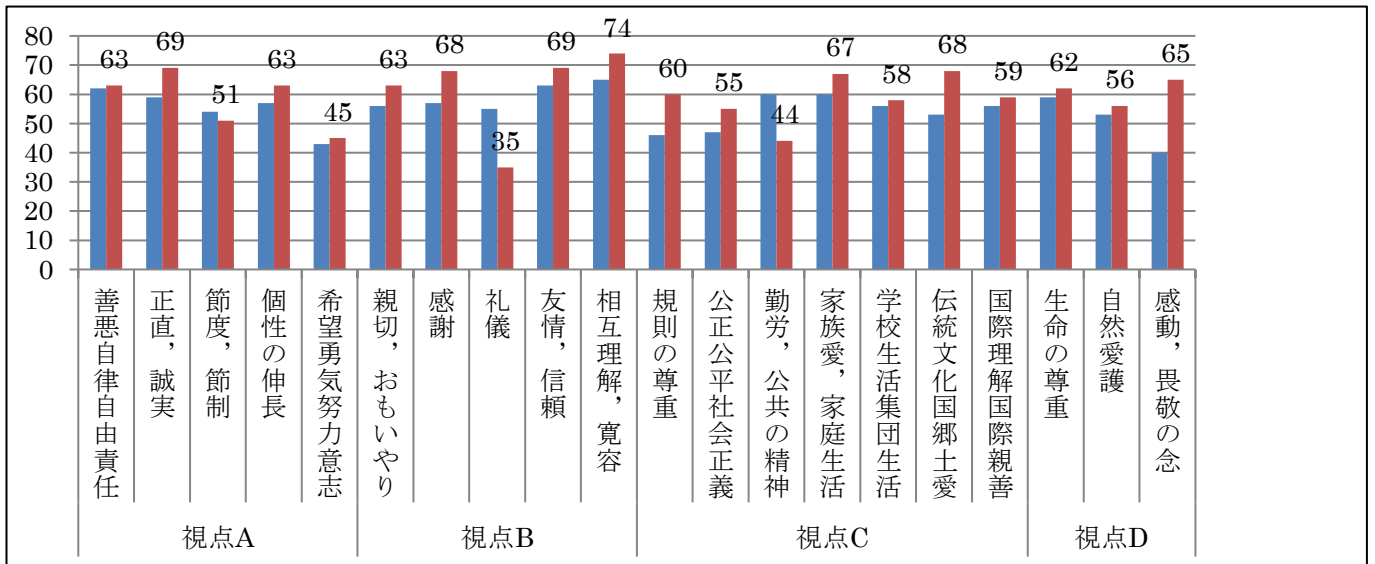
【2年生】



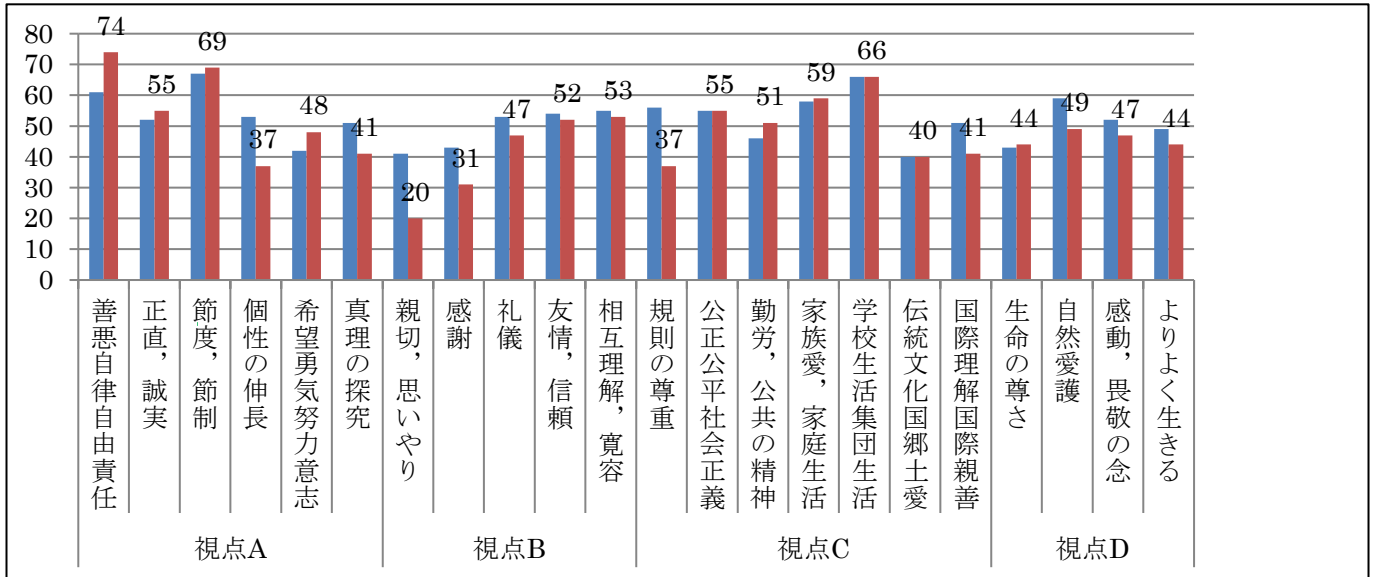
【3年生】



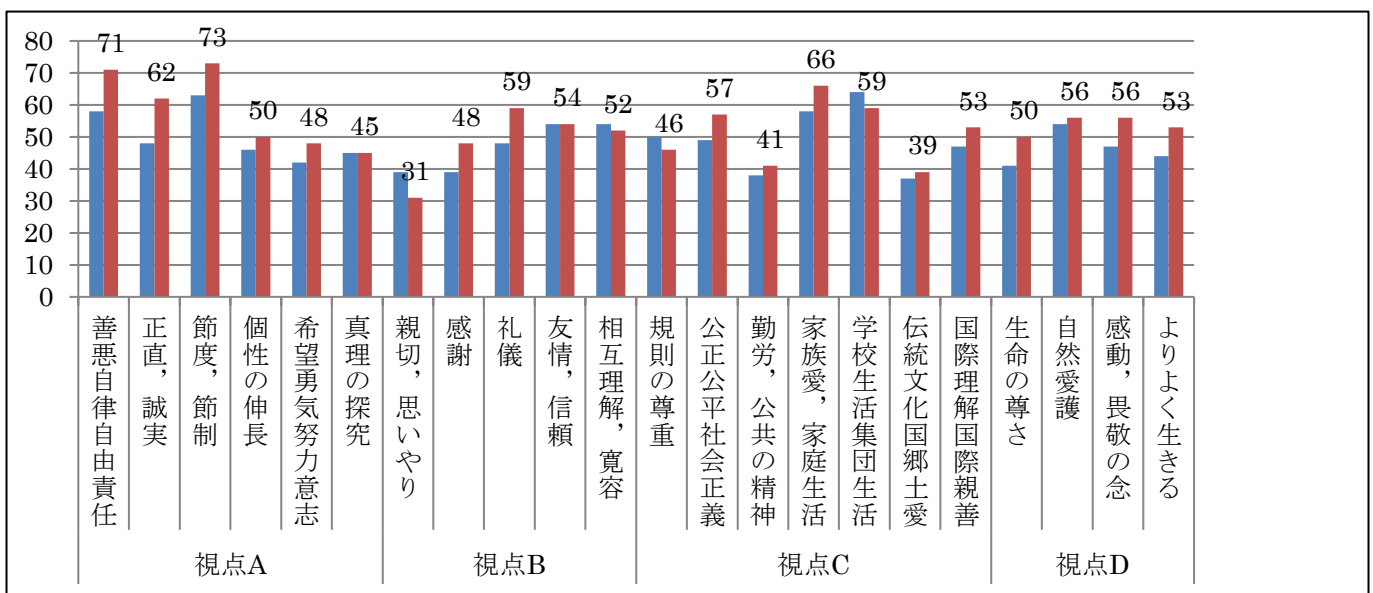
【4年生】



【5年生】



【6年生】



視点 A : 「主として自分自身に関すること」

視点 B : 「主として人との関わりに関すること」

視点 C : 「主として集団や社会との関わりに関すること」

視点 D : 「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」

【分析と今後の取組】

今年度から「道徳の時間」が「道徳科」として教科になりました。まずは、本校の児童の実態を知るために道徳性検査を行いました。全国平均値と東栄小を比較すると総合的には概ね同じ傾向にあるといえます。大きな傾向としては視点C「主として集団や社会とのかかわりに関すること」に課題が見られます。特に「勤労と公共の精神」の内容項目が望ましくない状況にあります。また、視点B「主として人との関わりに関すること」にある「親切、思いやり」や「礼儀」などの内容項目も気になります。

保護者の皆さんは、この結果をどのように捉えたでしょうか。ぜひ、ご家庭でも話題に取り上げていただきたいです。道徳の学習でよく言われている課題は、「頭では善悪を理解していても、実際に行動することが難しい」ということです。例えば、道にゴミが落ちていても素通りしてしまう状況などよくあることだと思います。

今後は、この結果を踏まえて、道徳科の授業の中で、各学年のよさと課題である内容項目を踏まえつつ、東栄っ子にとって必要感のある道徳科の授業づくりに役立てていきます。

また、10月26日（金）の全校参観日は全学級「道徳科」の授業です。